



ご挨拶 院長より

みなさん、おげんきですか？ 最近、新型コロナウイルスをあまりにこわがって、受診されない方がおられますが、電話で、診療時間中に医師とお話をすることで、診察したことになり、クリニックに入らなくても処方箋をお出しすることが出来ます。電話診察といいます。オンライン診療と同じ扱いです。コロナ感染が巷に存在する限り、法律的に許されていますので、是非利用してください。

今月の言葉

自然界にはありとあらゆる生物が存在している。人間もその中の生きものであり、その中に含まれる。なんら、特別の存在ではないはずだ。しかしその中で人間のエゴがまかりとおっている。特別に特別なことをしていると、地球上で生態系が、確実に壊れてゆく、いやすでにかなり、崩壊しているのではないだろうか？



庸介先生より

●大腸内視鏡について

・「便に血が混じる」「がんやポリープが心配」「下痢がつづく」など、大腸の病気が疑われる場合に行う検査です。しかし、正直なところ大腸内視鏡は楽な検査ではありません。そこで当院では痛みを和らげるため様々な工夫を行っています。

・1つ目は鎮静剤の使用です。簡単に言うと眠ったような状態で検査を行います。「気が付いたら検査が終わっていた」という方もいらっしゃいます。もちろん、モニターで心臓の動きや呼吸状態をチェックしながら安全に行いますので、ご安心ください。

・2つ目は炭酸ガスの使用です。通常の空気よりもお腹の張りが抑えられます。大腸内視鏡の苦痛の1つが、検査中に入れた空気による張りです。炭酸ガスは水に溶けやすく吸収されるため、張りが軽減されるのです。

・3つ目は軸保持短縮法の採用です。力まかせに挿入すると、腸管が伸びて痛みが強くなります。軸保持短縮法では大腸の軸に内視鏡の軸を沿わせて、腸管を丁寧に折り畳んで挿入します。これにより負担が軽減されるのです。

・とは言え全く痛みがない訳ではありません。手術の癒着があったり、腸管が長かったりすると軸保持短縮法が通用しない場合もありますし、痛みに敏感な方もいらっしゃいます。だからこそ、苦痛を和らげる方法を組み合わせることが必要だと当院は考えます。たまに「完全に無痛」という表現を拝見しますが、残念ながらそれは事実と異なります。





・検査は土曜日にも行っていますし、胃カメラと同時に行うことも出来ます。お忙しい方は是非ご利用ください。

・当院では大腸ポリープに対して『コールドポリペクトミー』を行っています。高周波を使わない、「焼かない内視鏡治療」です。「焼く内視鏡治療」よりも合併症が少ない方法です。これによって10mm以下で癌の可能性が低い大腸ポリープは、検査と同時に切除出来ます。ただし、サイズの大きい病変や癌の可能性がある病変は、しっかりと高周波を使用した切除が必要になります。その場合は経験豊富な施設をご紹介いたします。

【院長の考え】



* 診療って、全身管理だ、全般治療だ、局所だけ治して、治るはずがない。
○ このコロナの時代、どうしたらよいだろうかと悩みながら、平気で密に集まり大声をだしたり、皆で食事をしている人間とはおろかだ。

✖ 病気って、はじめはなにも症状がないのだよ。なんで症状がないうちに病気をみつけないのだろう。診断学も、なんか、いつも教科書的だよな。

▽ いま、いくつもの医療機関に同時にかかっている方がいます。そうです、複数の医者が一人の患者さんを、情報共有しながらみているのです。そう、もうなくなってしまったEMIネットの精神だ。

▲ なんて、すぐ痛みをとめようとするのだろう。下痢を止めようとするのだろう、病気の原因をなおせば、いたみなんかすつとぶさ。

◎ いつもいっている、みんな自分で自分を治す力があるのだよ。その力がなくなるとき、免疫力がなくなっているのさ。

#general practice,, いいことばだなあ、なぜかすつきりする。あのはるかかなた、英国でついに始まり最近やっと、専門科として評価されるようになったのさ。

\$ 自分で考える力は、世界で、どの国が一番かな、どの国がピリかな？

● 確かに最近、庸介先生がきてから、来院して即座に検査をやり、患者さんからして、病気がすぐわかって良かったという声を聞きます。そんなに時間の余裕はない方には特にいいですね。

<11月の院長の院外活動>

2/ (月) 昼 牧の原小学校就学時検診。 5/ (木) 夜 糸東流空手稽古

11/ (水) 昼 東葛クリニックみらい。18/ (水) 当院 カンファレンス (待合室にて)

19/ (木) 夜 糸東流空手稽古。26/ (木) 昼 糸東流空手稽古

28/ (土) 午後 患者さん宅 往診。



今年は、コロナの流行で
我小曼の1年でした。
来年は、安心して過ごすことが
出来るといいです。 島津

